

←対応したことは各チェックボックスに印をつける。

管理職

- 現場に到着し次第、リーダーとなる。
- それぞれの役割の確認および指示
- ★エピペン®の使用または介助
- 心肺蘇生やAEDを使用

発見者「観察」

- 子供から離れず観察
- 助けを呼び、人を集める（大声または、他の子供に呼びに行かせる。）
- 教職員A、Bに「準備」「連絡」を依頼
- 管理者が到着するまでリーダー代行となる。
- ★エピペン®の使用または介助
- 薬の内服介助
- 心肺蘇生やAEDの使用

教職員A班「準備」

- 「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」を持ってくる。
- エピペン®の準備
- AEDの準備
- 内服薬の準備
- ★エピペン®の使用または介助
- 心肺蘇生やAEDを使用

教職員B班「連絡」

- ★救急車を要請する（119番通報）
- 管理職を呼ぶ
- 保護者への連絡
- さらに人を集める（校内放送など）

教職員C「記録」

- 観察を開始した時刻を記録
- エピペン®を使用した時刻を記録
- 内服薬を飲んだ時刻を記録
- 5分ごとに症状を記録

教職員D班「その他」

- 他の子供への対応
- 救急車の誘導
- ★エピペン®の使用または介助
- 心肺蘇生やAEDの使用

★エピペン®使用と救急車要請のタイミング

緊急性が高いアレルギー症状

【全身の症状】

- ぐったり
- 意識もうろう
- 尿や便を漏らす
- 脈が触れにくい
または不規則
- 唇や爪が青白い

【呼吸器の症状】

- のどや胸が締め付けられる
- 声がかすれる
- 犬が吠えるような咳
- 息がしにくい
- 持続する強い咳き込み
- ゼーゼーする呼吸
(ぜん息発作と区別できない場合を含む)

【消化器の症状】

- 持続する強い
(がまんできない)お腹の痛み
- 繰り返し吐き続ける

1つでもあてはまれば

- ①ただちにエピペン®を使用する
- ②救急車を要請する（119番通報）
- ③その場で安静にする（立たせたり、歩かせたりしない）
- ④その場で救急隊を待つ
- ⑤可能なら内服薬を飲ませる
- ※エピペン®を使用し、10～15分後に症状の改善が見られない場合は、次のエピペン®を使用する。（2本以上ある場合）
- ※反応がなく、呼吸がなければ心肺蘇生を行う

緊急時対応カード（記録用紙）

児童・生徒氏名	
---------	--

記録者名								
食べた（摂取など）時刻		平成	年	月	日	時	分	
食べた（摂取など）状況		食べたもの（ 量（						
処置	緊急時処方薬	時		分				
	エピペン使用	時		分				
	その他							
救急車		要請時刻	時	分	到着時間	時	分	
医療機関		連絡時刻	時	分	到着時間	時	分	
保護者		連絡時刻	時		分			
経過		時刻		内容				
		時	分					
		時	分					
		時	分					
		時	分					
		時	分					
		時	分					
		時	分					
		時	分					
		時	分					
		時	分					
		時	分					
		時	分					
		時	分					
		時	分					
		時	分					
		時	分					
		その他						